

2月10日（月） 朝礼にて

3年生、久しぶりですね。1週間ぶりです。とっても長かったね。今日から学校です。しっかり頑張ってください。ちょうど1週間、家で過ごした時間の分まで学校で頑張ってくれるといいです。

さて、オリンピックが始まりました。どこでやっているか知っていますか。そうです。ソチというところですよ。どこの国か知っていますか。ロシアという国です。世界で1番大きな国の、けっこう日本から遠い方です。黒海の近くにあって、ロシアの中では暖かい方だそうです。黒海に面した側は暖かくて、山の反対側は雪がたくさん降ります。しかし、近年の温暖化の影響か、いつもならたくさん雪の降る山の反対側も雪が少なく、人工降雪機を使って雪を作っているそうです。

そのソチオリンピックですが、昨日、決勝が行われたモーグルという種目、見た人ありますか。上村愛子という人が出ただけだけど、この人、34歳です。最初にオリンピックに出たときは17歳。日本で冬季オリンピックが君たちの生まれるだいぶ前に行われたんですが、16年前に長野オリンピックに出場しました。それ以来、5回連続で出場して、今回で最後にすると決めていました。長野オリンピックでは7位。次のソルトレイクオリンピックでは6位。トリノオリンピックでは5位。バンクーバーオリンピックでは4位。そして、今回も4位でした。世界で一番、金メダルを取ろうと思って16年間がんばってきた最後のオリンピックでした。一生懸命滑ったけれど、4位。彼女の滑りをみていた人たちが「上村の方が、他の選手の滑りよりよかった。」「技がきれいだった。」と、口々に言っていたけれど、採点の結果は4位でした。じゃあ、上村愛子さんはどうだったかというのと、「さすがすごい」といいました。「全力を尽くしたからさすがすごい」こう言って、周りの人に伝えました。周りの人たちの方が悔しがっていました。

何が大切だと思いますか。金メダルを取ること。銅メダルを取ること。私たちはそんな風に思ってしまうけど、一生懸命やった人は、それまでに積み上げた時間の方が大切だと思ったんです。彼女はこれから、後輩を育てる仕事に就くと思いますが、すばらしい人柄に触れてすばらしい選手を育てていくことでしょう。私も、こういうお話を聞いて感動しました。初めてのオリンピックに出たときは高校生。それ以来、ずっと全世界の超一流の選手たちの中で過ごしてきた選手のお話でした。